

一般質問

小松久幸 国は自治体支援として地方創生臨時交付金を創設し、地域経済の再生、休業補償等幅広く使える交付金としている。本市も今年

独自の支援策について

小林 重樹 現時点で寄付金額は1億円を超えており、最終目標は1億7千万円としている。また、新たな取り組みとして新たな返礼品の追加や、企画の見直し等を考えている。

副市長 その方向で検討する。

小林 重樹 独自の支援策を打ち出したが、来年度においても独自の支援策を予算計上しているのか。
副市長 市独自としての予算計上はしていないが、国の補正予算等の様子を見つめながら、その都度臨機応変に対応していきたい。
小林 重樹 市内の小売業、特に飲食サービス業は、このコロナ禍においてかなり疲弊しており、影響がポディブローのようにダメージを受けている。次年度においても支援は必要不可欠である。ぜひ実施していただきたい。

小林重樹議員 コロナ禍でダメージを受けている 市内小売業に支援を

令和3年度ふるさと納税について

小林 重樹 コロナ禍において税収不足を補うため、他自治体が積極的に取り組んでいるのが、ふるさと納税制度の活用と強化である。このふるさと納税の現状と将来の展望はどうか。

副市長 市独自としての予算計上はしていないが、国の補正予算等の様子を見つめながら、その都度臨機応変に対応していきたい。

石部誠議員

確定申告に合わせて、新型コロナウイルス 支援策の広報を行ってはどうか

石部 誠 医療機関や高齢者施設、学校などで社会的検査が必要では。市民要望に応え、PCR検査を行い、検査費用の負担をできないか。

新型コロナウイルスについて

政策監 まず感染防止策を行い、症状が出てから検査をする。陽性が出てからの対応が国の方針。

石部 誠 国や市の生活や経済支援策の啓発が少ない。確定申告に合わせて行っはどうか。

政策監 メール配信や申告においても支援策について提供する。

災害記録誌について

石部 誠 県の災害記録誌には新成羽川ダムの記述が少ない。また避難所やボランティア活動については高梁市ならではの記述が必要と考

吉備中央町上竹で進行中の産業廃棄物最終処分場について

石部 誠 津川町佐身谷に流れ込む場所、新たな管理型の産廃場の計画がある。地元説明会も開催されているが状況を把握しているか。
市民生活部長 現在は県からの照会もなく把握していない。

石部 誠 正確な情報収集と、下流域の地域や市民に対して丁寧な説明が必要と思うがどうか。

副市長 市の立場を考え、情報集に努め適切な対応をする。

一般質問

ここを聞きました!

宮田好夫

- ・本市の人口について
- ・高梁市図書館について
- ・コロナ禍における小・中学校の対応について
- ・合併処理浄化槽設置事業補助金について

小林重樹

- ・令和3年度一般会計予算について
- ・近藤市長の市政運営方針を問う

石部 誠

- ・新型コロナウイルスの市内への影響について問う
- ・豪雨災害復旧の進捗状況と記録誌発行について問う
- ・日本遺産認定後の吹屋のまちづくり計画について問う
- ・吉備中央町上竹地区に計画が進められている産業廃棄物最終処分場について問う

伊藤愛樹

- ・ウイルス感染症対策について
- ・がけ地の安全対策について
- ・高梁市保育士養成奨学金貸付制度について
- ・住宅取得助成について

金尾恭士

- ・次期高梁市総合計画について
- ・川上医療センターについて
- ・本市の公共交通について
- ・有漢義務教育学校について
- ・市民への災害情報周知のあり方について

平松久幸

- ・イベント等補助金の見直しについて

小柴健男

- ・憲法を暮らしに生かした行政をするべきではないか
- ・認知症徘徊者見守り支援を強化するべきではないか
- ・市道などの生活関連施設の維持管理は市が責任を

川上博司

- ・行政手続きのオンライン化について
- ・行政手続における押印廃止と書面主義の見直しについて

倉野嗣雄

- ・定住対策について
- ・行財政改革について
- ・職員の意識改革について

森 和之

- ・ママ・サポート119について
- ・学校薬剤師について
- ・部活動の再開と外部指導者について
- ・新型コロナウイルスの感染に伴う情報拡散と風評被害について

森上昌生

- ・令和2年9月の市長選挙及び市議会議員選挙について

宮田好夫議員

高梁市図書館の指定管理は 議会と事前に議論を

高梁市図書館をどのように評価しているか

宮田 好夫 高梁市図書館が開館して4年が来るが、市はどのように評価しているのか。

教育次長 来館者は、開館から現在までで215万人となっている。貸出冊数も旧図書館に比べ大きく伸びていて、イベントも年間180回開催されている。また、移動図書館車は60カ所を巡回するなど、市政発展に寄与していて、高く評価している。

今後の指定管理をどのようにしていくのか

宮田 好夫 指定管理期間は令和4年3月末なので、残り1年余りとなった。今後の図書館運営をどう考え

ているのか。
教育次長 引き続き現管理者でお願いしたいと考える。

宮田 好夫 年間1億4800万円の指定管理料はどうか。

教育次長 現在の管理料を基本に考えている。

宮田 好夫 令和3年度には指定管理の更新に向けた動きがあると思うが、議会と事前に議論する必要がある。



▲高梁市図書館